

【科目名】 運動器疾患作業療法治療学		【担当教員】 永松一真							
【授業区分】 専門分野 (作業療法治療学)		【授業コード】 4-23-0890-0-1		(メールアドレス) nagamatsu@nur05.onmicrosoft.com					
【開講時期】 3 年次 前期		【選択必修】 1 単位		(オフィスアワー) 火曜～金曜 (8:30 ~ 18:00)					
【単位数】 1 単位		【コマ数】 15 コマ							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 生理学、解剖学、臨床運動学、臨床医学の知識を整理および修得をしておくこと。 作業療法評価学の知識および技能を再学習しておくこと (受講のルールに関わる情報・予備知識) 実技演習できる服装で参加すること。									
【講義概要】 (目的) 整形外科領域の様々な疾病や障害(肩関節周囲炎、骨折、靭帯損傷など)に対して、筋力トレーニングや関節可動域訓練などの運動療法とそれに伴う作業療法を選択できる能力を身に付け、疾病や障害への作業療法効果と作業療法がこれら疾患や障害に及ぼす影響について学修することを目的とする。 (方法) 教科書、配布資料などに沿って各疾病や障害に対する運動療法や作業療法について講義を行う。									
【一般教育目標(GIO)】 ・ 骨関節疾患と内部障害の臨床像とその生活機能障害について理解する。 ・ 運動器疾患と内部障害に対する作業療法評価から治療に至る作業療法過程を理解する。									
【行動目標(SBO)】 ・ 各疾患の臨床像とその生活機能障害について説明できる。 ・ 運動器疾患と内部障害の作業療法について、その目的と治療、指導、援助内容が説明できる。									
【教科書・リザーブドブック】 岩崎テル子編集・『身体機能作業療法学』標準作業療法学 医学書院, 2011 年. ¥4,700 (税別)									
【参考書】 長崎重信編集・『身体障害作業療法学』作業療法学 4 ゴールド・マスター・テキスト メジカルビュー社、2010 年. ¥5,670									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) ・ 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 ・ 試験 70%、レポート 20%、参加態度など 10%の割合で総合的に判定する。									
【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成果発 表	実技	ポートフォ リオ	参加態 度	合計
総合評価割合		30	0	60	0	0	0	10	100 点
評	取り込む力・知識	15		30					45

平成 26～28 年度入学者用

価値指標	思考・推論・創造の力	15		30					45
	コラボレーションとリーダーシップ							5	5
	発表力								0
	学修に取り組む姿勢							5	5

【授業日程と内容】

回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)
1	オリエンテーション 運動器疾患への作業療法	講義	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30分
2	脊髄損傷に対する作業療法① 損傷レベルに合ったアプローチ方法について	講義	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30分
3	脊髄損傷に対する作業療法② ケースステディを通じて具体的なプログラムを立案し実施する。	講義・演習	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30分
4	神経変性疾患に対する作業療法① 骨折の種類に合ったアプローチ方法について	講義・演習	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30分
5	神経変性疾患に対する作業療法② ケースステディを通じて具体的なプログラムを立案し実施する。	講義・演習	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30分
6	神経・筋疾患に対する作業療法① 骨折の種類に合ったアプローチ方法について	講義・演習	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30分
7	神経・筋疾患に対する作業療法② ケースステディを通じて具体的なプログラムを立案し実施する。	講義・演習	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30分
8	関節リウマチに対する作業療法① 骨折の種類に合ったアプローチ方法について	講義・演習	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30分
9	関節リウマチに対する作業療法② ケースステディを通じて具体的なプログラムを立案し実施する。	講義・演習	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30分
10	上肢骨折に対する作業療法① 骨折の種類に合ったアプローチ方法について	講義・演習	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30分
11	上肢骨折に対する作業療法② ケースステディを通じて具体的なプログラムを立案し実施する。	講義・演習	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30分
12	下肢骨折に対する作業療法① アプローチ方法について	講義・演習	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30分
13	下肢骨折に対する作業療法② ケースステディを通じて具体的なプログラム	講義・演習	予習：次回単元の教科書を読んでおく。	30分

平成 26～28 年度入学者用

	を立案し実施する。			
14	呼吸器疾患に対する作業療法 アプローチ方法について	講義・演習	予習：次回単元の教科書を 読んでおく。	30 分
15	心疾患に対する作業療法 アプローチ方法について	講義・演習	予習：次回単元の教科書を 読んでおく。	30 分

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。